

2024 年 12 月 3 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：世界的な血液培養ボトル不足解消後の血液培養 2 セット採取率の回復に関する研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、研究機関の長である湯澤由紀夫の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2024 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの藤田医科大学病院での血液培養ボトルセット数です

2. 研究目的・方法・研究期間

ベクトン・ディッキンソン(BD)社は 2024 年 6 月に BACTEC®血液培養ボトルが世界的に不足する懸念に関して通達を行いました。平時においては血流感染が疑われる際には菌血症の診断確率の上昇やコンタミネーションの判断のために血液培養ボトル 2 セットでの採取を推奨しておりますが、平時の半量の供給となるため、1 セットでの採取を推奨いたしました。10 月 1 日に血液培養ボトルの供給は改善されました、その後、複数セット採取率が不足前の状況に速やかに回復するのかを観察した研究はございません。今回の研究の目的は、このように血液培養ボトルが不足する事態が生じ、それが解消した後にどのように血液培養の複数セット採取率が改善していくかを観察することです。

具体的には 2024 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの週ごとにおける血液培養採集セット数・血液培養 1 セット採集数・在院患者延数・同時期における月ごとの血液培養陽性数・汚染数を入データ収集いたします。そこから、血液培養複数セット採取率を算出いたします。これらは日常業務で行っております。研究は 2024 年 4 月 1 日から 12 月 31 日までの全血液培養ボトル採集数でおこないます。研究期間は 2027 年 3 月 31 日までです

3. 研究に用いる試料・情報の種類

用いる試料はございません。情報は週ごとにおける血液培養複数セット採取率や 1000 患者・日あたりの血液培養採取率などを用います。

情報管理責任者： 藤田医科大学 医学部・感染症科 医師 花井翔悟

4．外部への試料・情報の提供

ありません

5．研究組織

本学の研究責任者： 藤田医科大学 医学部・感染症科 医師 花井翔悟

共同研究機関：なし

既存試料・情報の提供のみを行う機関：なし

6．お問い合わせ先

個人情報が入り済みのデータを用いて研究を行います。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご希望があれば、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

照会される場合の連絡先：

担当者：藤田医科大学医学部・感染症科 医師 花井翔悟

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2000

e-mail:shogo.hanai1990@gmail.com

7.特定されない将来の研究のための試料・情報の使用・提供

特定されない研究に用いられる可能性、他機関へ提供される可能性はありません。

< 企業等からの資金提供なし、研究者の利益相反なし >

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。